

言語学論叢

TSUKUBA WORKING PAPERS IN LINGUISTICS

二種類の範疇変化とその構造的定義：否定の接頭辞と右側主要部の規則	1
田川拓海	
Homography-induced ambiguity in Japanese kanji and the lexical disambiguating function of okurigana	17
Keisuke HONDA	
ソコトゥリ語の起源と歴史的変遷：無声後部歯茎摩擦音の観点から	43
二ノ宮崇司	
Constraints on multiple negative polarity item constructions in Japanese and Korean	61
KangHun PARK	
On beliefs about difficulty in language learning and learners' factors	83
Elena Tsygalnitsky	
中国語における主語・目的語の非対称現象：任意の解釈をもつ要素の出現形式を中心に	99
王丹丹	

Syntactically defining two types of category change: Negative prefixes and the Righthand Head Rule	1
Takumi TAGAWA	
Homography-induced ambiguity in Japanese kanji and the lexical disambiguating function of okurigana	17
Keisuke HONDA	
The origin of Soqotri and its historical change: From the viewpoint of unvoiced post-alveolar	43
Takashi NINOMIYA	
Constraints on multiple negative polarity item constructions in Japanese and Korean	61
KangHun PARK	
On beliefs about difficulty in language learning and learners' factors	83
Elena Tsygalnitsky	
The subject-object asymmetry in Chinese: On the appearance form of elements with arbitrary interpretation	99
Dandan WANG	

2007年 第26号

No.26

2007

筑波大学一般・応用言語学研究室

Linguistic Circle
The University of Tsukuba

執筆者一覧（執筆順）

田川拓海（筑波大学大学院博士課程 人文社会科学研究科 文芸・言語専攻
応用言語学領域）

本田啓輔（筑波大学大学院博士課程 人文社会科学研究科 文芸・言語専攻
応用言語学領域）

二ノ宮崇司（筑波大学大学院博士課程 人文社会科学研究科 文芸・言語専攻
一般言語学領域）

朴 江訓（筑波大学大学院博士課程 人文社会科学研究科 文芸・言語専攻
応用言語学領域）

ツイガルニツカヤ レナ（筑波大学大学院博士課程 人文社会科学研究科
文芸・言語専攻 応用言語学領域）

王 丹丹（筑波大学大学院博士課程 人文社会科学研究科 文芸・言語専攻
応用言語学領域）

投稿について

投稿資格：筆頭執筆者が会員であれば、他は非会員でも執筆が可能です。
次号より『言語学論叢』を電子ジャーナルとしてのみの公開と致します。投稿
希望者は、紙に印字した原稿一部と指定の書式による Word 形式のファイルを
担当者までお送りください。採否は査読による審査を経た形で決定されます。

書式及び締め切りについて

書式につきましては、編集委員の方から投稿希望者にご連絡いたします。なお
次号の締め切りは2008年10月末日を予定しています。投稿希望者は、2008年9
月末日までに、編集委員までご連絡をお願い致します。ご不明な点がありまし
たら、編集委員までお問い合わせください。

言語学論叢 第26号

2007年12月31日 発行

編集顧問 城生佰太郎・竹沢幸一

発行者 筑波大学 一般・応用言語学研究室

305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学 文芸・言語学系事務室気付

編集委員 金雄溶（応用言語学研究室）

二ノ宮崇司（一般言語学研究室）

吉田睦（応用言語学研究室）

定価 700円